

## 政策シート

(政策名) 適切な伐採と流通の活性化

(予算費目名) 林業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

## ◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

## ◇政策の概要

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、「浜松版グリーンレジリエンス」として、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大する。

## ◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源
-----	-------	--------	----------	-----	--------	-------	-------

## ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,099,314	1,023,795				
決算	950,817					
人件費(A)	56,420	57,140				
報酬(B)		1,611				
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,007,237	1,082,546				

## ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
年間木材生産量	m <sup>3</sup>	目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
		実績	141,085					
森林経営計画 認定面積(H24～累計)	ha	目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
		実績	21,083					
林業行政を総合的に推進する組織の設置		目標	-					設置(H30)
		実績						

## ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

林業・木材産業の成長産業化に向け、低コスト林業の推進や2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連施設への天竜材供給をはじめとした木材の地産地消並びに地産外商を推進する。

## ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
令和元年度より配分された森林環境譲与税を活用し、林業従事者の育成・確保のため安全装備、人件費、健康診断等への補助を拡充した。	
林業・木材産業の成長産業化に向け、林道の維持補修、低コスト林業の推進による作業道の開設や高性能林業機械の導入支援等を行った。	
天竜材の流通量や利用拡大のため、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設への天竜材供給をはじめとした木材の地産地消並びに地産外商を推進した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	林業従事者助成事業(補助金)	○	○			9,810	8,750	0.1	0.1		
2	林道等整備事業					588,753	567,753	3.0			
3	低コスト林業推進事業	○	○			163,500	158,900	0.4	0.5		
4	木材需要拡大事業	○	○	○		258,936	233,016	3.6	0.2		
5	林業成長産業化推進事業	○	○			44,042	41,582	0.3	0.1		
6	森林環境基金積立金					3,713	3,013	0.1			
7	森林管理運営経費					13,792	10,781	0.2			1,611
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,082,546	1,023,795	7.7	0.9		1,611

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 林業従事者助成事業(補助金)

### ◇事業目的・事業対象

林業認定事業体を対象とし、林業従事者の育成・確保を目的に、林業従事者が安心して作業ができる環境を整備する。

### ◇事業の概要

林業技術者助成事業(補助金)  
林業従事者の作業環境の整備と新規就業者の確保のため、認定事業体(or意欲と能力のある林業経営者)が負担する経費を支援する。

- 林業従事者安全装備品等支援事業
  - ・安全対策に必要な装備品等の購入に係る経費を支援  
(防護ズボン、チャプス、作業服、ヘルメット、チェーンソー等)
  - ・林業技術者振動障害対策支援、林業技術者技能習得研修等支援
- 新規就業者支援事業
  - ・新規就業者の給料等を支援(採用から3年間)

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	8,750	8,750				
	決算	7,414					
	国・県支出						
	市債						
	その他	7,414	8,750				
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		1,400	1,060				
人工	正規	0.2	0.1				
	再任用(h31)		0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.2,8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.2		

#### ・事業とゴールの関連性

林業従事者が安心して作業ができる働きやすい環境を整えることで、林業従事者の雇用の確保・拡大につながる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
森林組合作業班員数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	200	200	200	200	200	200	200
実績値	175	173					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
新規就業者支援者数(R1~累計)(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		66	86	106	126	146	166
実績値		66					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
新規就業者支援件数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	6	20					
実績値	11	10					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
新規就業者支援件数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
新規就業者支援件数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

林業技術者助成事業(補助金)  
 林業従事者の作業環境の整備と新規就業者の確保のため、認定事業体が負担する経費を支援する。  
 ・林業従事者安全装備品等支援事業  
 安全対策に必要な装備品等の購入に係る経費を支援  
 (防護ズボン、チャプス、作業服、ヘルメット、チェーンソー等)  
 講習会(安全教育・技能習得)等への参加及び健康診断(振動・蜂アレルギー特殊健診)に係る経費を追加支援  
 ・新規就業者支援事業  
 新規就業者の給料等を支援(採用から3年間)

・事業の成果と課題

指標の達成度  
計画通り  
 令和元年度から森林環境譲与税を活用し、講習会(安全教育・技能習得)等への参加及び健康診断(振動・蜂アレルギー特殊健診)に係る経費を追加支援することで、認定事業体への支援を拡充して実施した結果、林業従事者の労働環境の改善に繋げることができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

森林組合のみをしていた補助対象を、H30年度からは認定事業体に拡充して実施した。  
「林業従事者安全装備品等支援事業」のうち講習会(安全教育・技能習得)等への参加及び健康診断(振動・蜂アレルギー特殊健診)に係る経費を追加支援することで事業を拡充し、森林環境譲与税を活用した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

補助対象を認定事業体からさらに「意欲と能力のある林業事業体」にするなど拡大する。  
補助対象を見直すことでさらに従事者が安全に作業ができる環境整備を進めて、林業従事者の定着に繋げていく。

## 事業シート (事業名) 林道等整備事業

### ◇事業目的・事業対象

林業振興や森林の多面的機能の持続的発揮、山村地域の振興などを目的に、林内道路網の整備と維持管理を行う。

### ◇事業の概要

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行う。  
 ①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等を行う。  
 ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。  
 ③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等を行う。  
 ④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等を行う。  
 ⑤林道維持補修事業／市内の林道(204路線 約700km)を維持管理する。  
 ⑥林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林業専用道を整備する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	625,392	567,753				
	決算	568,632					
	国・県支出	137,865	110,348				
	市債	192,800	226,900				
	その他	24,878	124,419				
	一般財源	213,089	106,086				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		20,300	21,000				
人工	正規	2.9	3.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

#### ・事業とゴールの関連性

林道等の整備を進めることで素材生産量の拡大につながるとともに、生産するために必要な林業従事者の雇用の創出につながる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
林内道路密度(m/ha) ※(公道延長+林道延長)÷民有林面積							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	24.2	24.4	24.6	25.8	25	25.2	25.4
実績値	23.3	23.3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行った。

①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等  
【決算:117,314千円(うち前年度繰越:20,114千円)】

②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。【決算:50,876千円】

③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等  
【決算:184,976千円(うち前年度繰越:10,900千円)】

④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等【決算:17,605千円】

⑤林道維持補修事業／市内の林道(203路線 約700km)を維持管理  
【決算:171,186千円(うち前年度繰越:42,984千円)】

⑥林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林道専用道の整備  
【決算:34,106千円(うち前年度繰越:6,606千円)】

・事業の成果と課題

指標の達成度	
<input type="checkbox"/> 遅れている	
	実績
①公共林道整備事業(国庫補助)／	林道開設3路線
②県営林道整備促進支援事業(負担金)／	林道開設3路線、改良・舗装1路線
③県単独林道整備事業／	改良15路線、舗装1路線
④市単独林道整備事業／	舗装・その他2路線
⑤林道維持補修事業／	林道橋長寿命化工事・点検、小規模修繕等
⑥林業専用道整備事業／	整備1路線

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

令和元年度は概ね順調に事業執行ができたものの、地権者との交渉等が難航した一部の路線で翌年度繰越になる路線が発生した。

令和元年11月に発生した林道白倉山線陥没事故を受け、市内林道の緊急点検を実施し、61か所で修繕が必要であることが判明した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・林道・林業専用道の整備については、国及び県補助金を活用し計画的に事業を進めていく。
- ・市単独事業については、計画的に事業を進めていく。
- ・林道白倉山線陥没を受けた緊急点検で判明した危険箇所を令和2年度までに早急に補修する。
- ・森林整備や運搬コスト削減に資する林道整備は森林環境譲与税を活用する。



## 事業シート (事業名) 低コスト林業推進事業

### ◇事業目的・事業対象

効率的な林業経営の推進を目的に、森林施業の集約化に不可欠な林内路網(作業道、作業路、索道)整備や素材生産コストの低減に向けた林業機械導入等を支援する。

### ◇事業の概要

#### ①林業機械・施設整備事業(補助金)

「林業・木材産業構造対策事業費補助金」や「中山間地域林業整備事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援する。

#### ②低コスト林業推進助成事業(補助金)

林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	88,445	158,900				
	決算	67,963					
	国・県支出	18,146	88,900				
	市債						
	その他	16,163	70,000				
	一般財源 一般会計繰入金	33,654					
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		6,000	4,600				
人工	正規	0.6	0.4				
	再任用(h31)	0.5	0.5				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

高性能林業機械導入や作業道開設などによる効率的な持続可能な林業経営を推進することで、気候変動や自然災害に対する強靭性を高める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No	
					第1期	第2期	R1~R4	
年間木材生産量(m³)					I-1(1)ウ		I-1(1)エ	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
目標値	136,000	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200	
実績値	118,444	141,083						

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①林業機械・施設緊急整備事業(補助金)【決算:18,146千円(うち前年度繰越:15,900千円)】  
「合板・製材生産性強化対策事業」及び「水土保全森林緊急間伐対策事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援

②低コスト林業推進助成事業(補助金)  
林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①林業機械・施設緊急整備事業(補助金)
- |          |            |    |         |
|----------|------------|----|---------|
| 株明善フォレスト | ウインチ付グラップル | 1台 | 9,500千円 |
| (有)氏原林業  | フォワーダ      | 1台 | 6,400千円 |
| (有)丸白    | バックホウ      | 1台 | 2,246千円 |
- ②低コスト林業推進助成事業(補助金)
- |         |      |               |              |
|---------|------|---------------|--------------|
| (作業道開設) | 7路線  | 施工延長L=4,182m  | 補助金額10,090千円 |
| (作業道補修) | 37路線 | 施工延長L=15,572m | 補助金額12,378千円 |
| (作業路開設) | 38路線 | 施工延長L=18,564m | 補助金額19,432千円 |
| (索道設置)  | 3箇所  |               | 補助金額7,918千円  |

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ 林業機械等整備事業は、国の動向等を見極めつつ事業を執行した。
- ・ 低コスト林業推進事業(補助金)では、補助対象森林を適切に管理された「FSC認証森林」に限定するよう見直した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ 低コスト林業推進事業(補助金)において森林作業道修繕の上限を1路線500千円から1,000千円へ拡充し、路網整備を通じた作業の低コスト化を図ることから森林環境譲与税の活用事業とする。

## 事業シート (事業名) 木材需要拡大事業

### ◇事業目的・事業対象

林業・木材産業の成長産業化を目的に天竜材(FSC認証材)の「地産地消」、「地産外商」を推進する。

### ◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.51-No.54】

- ①天竜材の家百年住居助成事業／天竜材の利用拡大を目的に、市内で天竜材を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。
- ②天竜材ぬくもり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。
- ③木質バイオマス利用促進助成事業／木質ペレットストーブの購入・設置費用等への支援を行う。
- ④森林整備・林業振興事業／林業事業者や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、主伐、搬出等)を支援する。
- ⑤天竜材流通・販路拡大事業／天竜材の流通量及び販路拡大に取組む事業を支援する。
- ⑥森林活用等都市間連携事業／首都圏等の大都市との連携を促進する。
- ⑦森林環境教育推進事業／森林・林業に対する理解増進、森林環境意識を醸成するため森林環境教育を実施する。
- ⑧FSC認証材利用拡大推進事業／FSC認証材の普及のための大手企業との連携、PRグッズの作成等の各種事業を実施。
- ⑨(新規)木の癒し公共空間創出・実証事業／市役所本庁舎1階ロビーにおける、天竜材を活用したリノベーションと来庁者へのアンケート調査

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	253,206	233,016				
	決算	207,217					
	国・県支出	4,500	6,020				
	市債						
	その他	26,628	37,181				
	一般財源	176,089	189,815				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		24,520	25,920				
人工	正規	3.4	3.6				
	再任用(h31)	0.2	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1,11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2,12.7,12.8
④ 教育	○ 4.1,4.2	⑬ 気候変動	○ 13.3
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6,6b	⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.2,8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.2		

#### ・事業とゴールの関連性

適切かつ効率的な木材利用を進めるとともに、安心で質の高い教育・学習環境を提供することで、安全かつ強靱で持続可能な都市を実現する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
森林経営計画 認定面積(H24~累計)(ha)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	17,200	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
実績値	18,354	21,083					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
地域材利用建築件数(棟) ※天竜材の家百年住居る助成事業助成棟数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	250	250	250	250	250	250	250
実績値	181	146					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
木材・木製品製造業 製造品出荷額(億円/年)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	356	450	300	300	350	400	450
実績値	R2.8㍻	R3.8㍻					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
FSC認証材生産量(m <sup>3</sup> /年)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	95,000	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
実績値	67,392	R2.9㍻					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
天竜材の利用拡大に向けた連携数(都市・団体)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		4	4	5	5	5	6
実績値	3	5					

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>【R1-R4重点戦略項目 No.51・No.54】</p> <p>①天竜材の家百年住居る助成事業／天竜材の利用拡大を目的に、市内で天竜材を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。</p> <p>②天竜材めくもり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。</p> <p>③木質バイオマス利用促進助成事業／木質ペレットストーブの購入・設置費用等への支援を行う。</p> <p>④森林整備・林業振興事業／森林組合や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、搬出等)を支援する。</p> <p>⑤天竜材流通・販路拡大事業／天竜材の流通量及び販路拡大に取組む事業を支援する。</p> <p>⑥(新規)森林活用等都市間連携事業／首都圏等の大都市との連携を促進する。</p> <p>⑦(新規)森林環境教育推進事業／森林・林業に対する理解増進、森林環境意識を醸成するため森林環境教育を実施する。</p> <p>⑧(新規)FSC認証材利用拡大推進事業／FSC認証材の普及啓発のための大手企業との連携、PRグッズの作成等の各種事業を実施。</p>
---

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p>計画通り</p> <p>①天竜材の家百年住居る助成事業／支援件数:146棟(FSC追加助成=94棟)</p> <p>②天竜材めくもり空間創出事業／支援件数:5件</p> <p>③木質ペレットストーブの導入支援／支援件数:15基</p> <p>④森林整備地域活動支援交付金／森林経営計画策定に要する経費を支援 ・森林環境保全直接支援、美しい森林づくり基盤整備／間伐等、森林整備に要する経費を支援 ・合板・製材生産性強化対策事業(TPP対策)／間伐に要する経費を支援 ・(新規)林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢準化促進事業／主伐に関する植林・搬出等に関する経費を支援</p> <p>⑤天竜材製品開発支援事業／採択1社 ・天竜材海外輸出支援事業／海外に向けて木材輸出の支援</p> <p>⑥(新規)森林活用等都市間連携事業／首都圏の都市等の学校や企業との連携事業、活用する市有林の整備を実施</p> <p>⑦(新規)森林環境教育推進事業／森林環境教育のプログラム作成と受入れ体制の整備を実施</p>
---

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・森林環境譲与税を活用し、森林整備を促進するための主伐に対する助成制度や都市間連携・森林環境教育に関する事業を新設した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・一部の事業で統合・廃止をし、再構築を図る。  
・支援件数等の目標に達していない事業費を見直すとともに、より活用しやすい制度とするよう見直しを図る。

# 補助シート (事業名) 木材需要拡大事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
51 54	1 天竜材の家百年住居る助成事業 2 天竜材ぬくもり空間創出事業 3 浜松市木質バイオマス利用促進助成事業 4 森林整備・林業振興事業 5 天竜材流通・販路拡大事業 6 森林活用等都市間連携事業 7 森林環境教育推進事業 8 FSC認証材利用拡大推進事業	1 天竜材の家百年住居る助成事業 2 天竜材ぬくもり空間創出事業 3 浜松市木質バイオマス利用促進助成事業 4 森林整備・林業振興事業 5 天竜材流通・販路拡大事業 6 森林活用等都市間連携事業 7 森林環境教育推進事業 8 FSC認証材利用拡大推進事業 9 木の癒し公共空間創出・実証事業	1 天竜材の家百年住居る助成事業 2 天竜材ぬくもり空間創出事業 3 森林整備・林業振興事業 4 天竜材流通・販路拡大事業 5 森林活用等都市間連携事業 6 森林環境教育推進事業 7 FSC認証材利用拡大推進事業 8 木の癒し公共空間創出・実証事業	1 天竜材の家百年住居る助成事業 2 天竜材ぬくもり空間創出事業 3 森林整備・林業振興事業 4 天竜材流通・販路拡大事業 5 森林活用等都市間連携事業 6 森林環境教育推進事業 7 FSC認証材利用拡大推進事業 8 木の癒し公共空間創出・実証事業

## 事業シート (事業名) 林業成長産業化推進事業

### ◇事業目的・事業対象

地域の「素材生産」、「製材・加工」、「木材流通」のキープレイヤーが一体となり、素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげる。

### ◇事業の概要

浜松地域林業成長産業化地域構想への参画事業者が行う事業を支援する。  
 ・参画者: 素材生産者、製材・加工事業者、流通業者、森林育成事業者等  
 ・将来像: 「多様なFSC認証製品の流通拡大によるクリーンウッド社会の実現」  
 ・目標: 素材生産量1.5倍以上増加、製材品生産量1.3倍以上増加、製品販売量1.5倍以上増加、新規雇用者70人など(5年間累計)  
 ・取組: ①品質の高い原木の増産及び需要に応じた原木の安定供給  
 ②需要に応じた付加価値の高い天竜材製品の開発・生産  
 ③「地産地消」、「地産外商」の2方向による天竜材の流通・販路の拡大  
 ④需要に応じた川上から川下までの最適なサプライチェーンの強化・再構築  
 ⑤次代の林業・木材産業を担う人材の育成

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	77,289	41,582				
	決算	56,246					
	国・県支出	56,166	41,225				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	80	357				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		2,100	2,460				
人工	正規	0.3	0.3				
	再任用(h31)		0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.2,8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.2		

#### ・事業とゴールの関連性

素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげることは、持続可能な経済成長と産業化の促進及びイノベーションの推進を図るものである。



◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年間木材生産量(m³)					I-1(1)ウ	I-1(1)エ	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	136,000	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
実績値	118,444	141,085					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
FSO認証材生産量(m²)							51
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	95,000	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
実績値	67,392	R2.9頃					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

構想5カ年の3年目となる令和元年度は、参画事業者が行う4件のソフト事業、3件のハード事業(うち1件繰越)を支援する。

○ソフト事業

・雑貨・家具等の製品開発(永田木材株)、天竜式乾燥システム導入体制の整備、流通拡大のためのプロモーション事業、人材育成システムの構築(株鈴三材木店)

○ハード事業

・林業機械フォワーダの導入(春野森林組合)、木材処理加工施設リングバーカーの整備(天竜国産材事業協同組合)、木材加工供給施設装置UV塗装ラインの整備(株マルホン)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

参画事業者が行う4件のソフト事業、3件のハード事業(うち1件繰越)を支援した。

○ソフト事業	・雑貨・家具等の製品開発(永田木材株)	1,550千円
	・天竜式乾燥システム導入体制の整備(株鈴三材木店)	50千円
	・流通拡大のためのプロモーション事業(株鈴三材木店)	4,150千円
	・人材育成システムの構築(株鈴三材木店)	500千円
○ハード事業	・林業機械フォワーダの導入(春野森林組合)	4,766千円
	・木材処理加工施設リングバーカーの整備(天竜国産材事業協同組合)	29,850千円
	・木材加工供給施設装置UV塗装ラインの整備(株マルホン)	15,300千円

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ 構想に掲げた令和元年度分のソフト4件、ハード整備3件(うち1件繰越)の事業を支援した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ 引き続き計画どおり進めることで、構想で掲げる目標値の達成を目指していく。

## 事業シート (事業名) 森林環境基金積立金

### ◇事業目的・事業対象

森林、河川等の自然環境を守り育て、森林の公益的機能を維持増進し、併せて林業の振興を図るため、平成18年4月に創設した「浜松市森林環境基金」への積立を適正に行う。

### ◇事業の概要

#### ○基金への積立

- ・市民や企業からの寄附金を基金に積立てる。
- ・基金の運用益を基金に積立てる。
- ・森林環境譲与税を基金に積み立てる。

#### ○基金の効果的な活用

- ・基金事業所管課と連携を図り、基金の効果的な活用を図る。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市森林環境基金に関する条例	—	—	—

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	34,896	3,013				
	決算	34,646					
	国・県支出						
	市債						
	その他	34,646	3,013				
	一般財源						
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1,11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2,12.7,12.8
④ 教育	○ 4.1,4.2	⑬ 気候変動	○ 13.3
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6,6b	⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

基金は、森林、河川等の自然環境を守り育てるための事業、森林の有する公益的機能を維持増進するための事業及び林業の振興を図るための事業に要する経費に充てるため、さまざまな持続可能な開発目標とリンクしている。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 基金への積立
  - ・寄附金 11件 2,751千円
  - ・利子 8千円
  - ・森林環境譲与税 31,887千円
- 基金の効果的な活用
  - ・3事業 1,506千円

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

森林環境基金への寄附金及び基金の運用収入、森林環境譲与税を基金に積み立てることで、森林環境基金活用事業の財源として活用した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・近年の寄附額の実績に基づいた予算額に見直した。
- ・令和元年度から始まった森林環境譲与税の一部を積立て、後年度の事業に充当することとした。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・森林環境譲与税について、将来の事業量増加に備えて計画的に森林環境基金へ積立てを行う。

# 事業シート (事業名) 森林管理運営経費

## ◇事業目的・事業対象

## ◇事業の概要

※人件費(報酬等)は、会計年度任用職員報酬を計上

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	11,336	10,781				
	決算	8,699					
	国・県支出						
	市債						
	その他	171	245				
人件費(報酬等) (千円)	一般財源	8,528	10,536				
	一般会計繰入金						
人工	人件費(報酬等) (千円)		1,611				
	人件費 (千円)	1,400	1,400				
	正規	0.2	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

## ◇SDGsとの関連

### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

### ・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工



# 政策シート (政策名) 適切な伐採と流通の活性化

(予算費目名) 林業施設災害復旧費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

## ◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

### ◇政策の概要

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

### ◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑨イノベーション	⑬気候変動	⑮陸上資源						
-------	----------	-------	-------	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	260,000	260,000				
決算	312,483					
人件費(A)	2,100	2,100				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	314,583	262,100				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
災害復旧工事の着工率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100					
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り  
令和元年度は、国庫補助災害1路線(1箇所)、単独災害99路線(184箇所)と災害の発生は少なかったものの、入札不調により、令和元年度で国庫補助災害2路線(3箇所)の事業を行った。平成30年度からの繰越事業(国庫補助災害7路線8箇所、単独災害1路線1箇所)が多く、対応に事業費や事務作業・人工等を要した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	林業施設災害復旧事業					262,100	260,000	0.3			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						262,100	260,000	0.3			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 林業施設災害復旧事業

### ◇事業目的・事業対象

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

### ◇事業の概要

- ①国庫補助 災害復旧事業  
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。
- ②市単独 災害復旧事業  
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律等	-	-	-

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	260,000	260,000				
	決算	312,483					
	国・県支出	125,255	104,000				
	市債	7,200	44,000				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	180,028	112,000				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		2,100	2,100				
人工	正規	0.3	0.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	○ 13.1
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生	○ 6.6	⑮陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション	○ 9.1		

#### ・事業とゴールの関連性

異常な自然現象によって受けた被害を復旧することは、持続可能な森林経営等につながる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
災害復旧工事の着工率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	99	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①国庫補助 災害復旧事業【決算見込:150,124千円(うち前年度繰越:83,971千円)】  
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。
- ②市単独 災害復旧事業【決算見込:162,359千円】(うち前年度繰越:42,449千円)  
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

令和元年度は、国庫補助災害1路線(1箇所)、単独災害99路線(184箇所)と災害の発生は少なかったものの、入札不調により、令和元年度で国庫補助災害2路線(3箇所)の事業を行った。平成30年度からの繰越事業(国庫補助災害7路線8箇所、単独災害1路線1箇所)が多く、対応に事業費や事務作業・人工等を要した。また、全国的な工事部材(高力ボルト)不足による納期延期のため、一部の災害で工事着工できなく繰り越しとなった。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・災害発生後、早期に対応したことにより発生した災害は可能な限り着工することができた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

災害が発生した場合には、市民生活や林業経営の維持のため、早期着手・早期完了を目指していく。